

長崎市に住む人、働く人、学ぶ人が互いに“顔見知り”になることを目的とした「井戸端パーティー」。
ホームページでさまざまな交流の場を紹介しています。

中央地域センター ☎829-1418

🔍 井戸端パーティー

ホームページ Instagram Facebook



井戸端パーティーを活用しているかたをご紹介します！

次世代のため、若手のアイデアを地域活動に

記事全文は上記ホームページで。

川添 達朗さん



今回の井戸端peopleは、地元である琴海地区を中心に北部地区を盛り上げる活動を行う川添達朗さん。

川添さんが積極的に地域で活動するようになったきっかけは、幼い頃から親しんでいた琴海の夏祭りが行われなくなったこと。何とか復活させたいと、仲間を集めて2019年に「琴海手づくり夏まつり」を開催。その後、地域活動団体から悩みごとの相談などが来るようになりました。昨年10月には「三重地区みなと祭り」で子どもたちが主役のステージイベントを企画。コロナ禍で発表の場が無かった子どもたちが、久しぶりの舞台上で吹奏楽やダンスなどを披露して元気に会場を盛り上げたそうです。

昨年、琴海村松地区では「村松小学校区まちづくり協議会」が設立されました。川添さんは協議会の事務局長として、地域のかたの「やってみたい！」というアイデアを実現させ、みんなで楽しみたいそう。さらには、活動を見て地域に関わりたいと思う人が増えたらうれしいと語りました。

わがまち 自慢 調査し隊

かつて自由亭では
ビフテキ、カレー、スポンジケーキなどが提供
されていたそう！



お題

日本初の西洋料理店跡地(伊良林)

草野丈吉の最初の店「良林亭」

草野丈吉が1863年に開いた、日本初の日本人を相手にした西洋料理専門店「良林亭」。現在は亀山社中付近の跡地に、看板が立っているんだ。

農家出身の草野丈吉は出島で働きながらオランダ人から西洋料理の知識を習得したそう。そして開業したのが「良林亭」。わずか六畳一間の店舗で、現代でいうと1人約1万5千円と強気の価格設定だったけれど、それでも大人気でお客さんは絶えなかったそう。

1878年、店を馬町に新築移転したのが、「自由亭」。現在は一部がグラバー園内に移築されていて、食事が楽しめるよ。草野丈吉の胸像もあるから見に行ってみてね！

まちの自慢を募集！

「広報ながさき」で紹介して欲しい、まちの自慢を募集しています。自薦・他薦は問いません。はがきか市ホームページでご応募ください。



▲グラバー園内にある自由亭

